



鳴鹿小学校

校長室だより

第15号 令和6年1月22日(月)



新しい年を迎えて



いよいよ2024年がスタートしました。

今年の干支は「辰」です。もう少し詳しくいうと「甲辰」です。「甲辰」には、成功という芽が成長していき、姿を整えていくという意味あいがあるため、努力すれば実りやすくなっていく年と言われているそうです。

また、「辰」である「龍」は誰が見ても力強さを持っており、権力の象徴ともされている神話上の動物です。ですから、龍のように力溢れるような活気づく年になるとも言われています。

我々教職員は、80名の子ども達が、天にも昇る龍のごとく、一段と成長できるように支えていきたいと思えます。もちろん、そこにはご家庭のご協力が必要なことは言うまでもありません。学校と家庭、地域が手を取り合って、子ども達を育てていけたらと思っています。

昨年同様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

大谷翔平選手からグローブが届きました！

各種報道で話題の大谷翔平選手からのサイン入りグローブが届きました。右用2つと左用1つです。「野球しようぜ！」と書かれたカード、大谷さんからの手紙も同梱されていました。

子どもたちが、大谷さんのように大きな夢をかなえられる人になってくれることを願って、授業や休み時間等で大切に使用していきたいと思えます。



薬物乱用防止教室が開かれました



毎年、丸岡ライオンズクラブ主催で6年生対象に行っている薬物乱用防止教室が17日(水)に開かれました。

違法薬物はもちろん、身の回りにある油性マジックやラッカースプレー、マニキュア等に含まれる有機溶剤も、本来の用途以外の使い方をすれば違法になることや、精神も肉体もむしばまれる可能性があることを学びました。



知らない間に犯罪に巻き込まれることもあるということで、子どもたちは真剣に聞いていました。脳に似た成分である発泡スチロールに油性マジックを押し付けたり、ラッカースプレーをかけたりすると発泡スチロールが溶ける実験で、その危険性を実感していました。

知らない間に犯罪に巻き込まれることもあるということで、子どもたちは真剣に聞いていました。脳に似た成分である発泡スチロールに油性マジックを押し付けたり、ラッカースプレーをかけたりすると発泡スチロールが溶ける実験で、その危険性を実感していました。

第3学期始業式

新しい年を迎えました。明けましておめでとうございます。

冬休みは楽しく過ごせましたか。今年の冬休みは元日から大きな地震がありました。29年前の1995年1月17日にあった阪神淡路大震災の時よりも揺れが大きく、時間も長く、家が崩れるかと思うほどでした。身の危険さえ感じました。あれほどの揺れは、みなさんも初めてのことで、とても怖かったことと思います。

震源地の能登地方では、家が崩れるだけではなく、火災も発生して生活の基盤が無くなってしまう人がたくさん出ました。多くの方が亡くなり、元の生活に戻るにはこれから長い月日が必要でしょう。

さらに2日には、東京の羽田空港で飛行機同士が衝突する大きな事故もありました。飛行機が燃える映像を見た人もいるでしょう。旅客機に乗っていた人は全員助かりましたが、小さい方の飛行機では5人の方が亡くなりました。

日本国中が嬉しいはずの正月に、このような大きな災害や事故が起きるなんて、誰も考えてもいなかったはずです。家族で笑い合い、幸せな正月を過ごす予定だったはずです。災害に遭われた人たちのことを思うと本当に辛いです。校長先生は、元日に初詣に行きましたが、家族の健康をお祈りしただけだったので、次の日にも神社に行き、被災された多くの方の安全と被災地区がはやく元通りになるようにお祈りしてきました。

そして、このような災害や事故を目の当たりにして、校長先生は、今こうして無事に生きていられることの幸せを大事にしなければいけないと思いました。無駄にする時間は1秒も無い。無駄にはいけないと思いました。

そんな中、鳴鹿小学校のみなさんがこうして登校でき、新しい年、そして3学期を迎えることができ、校長先生はもちろん先生方もとてもうれしい気持ちです。

無事でいてくれてありがとうございます。

さて新しい年を迎えて、皆さんは、今年はこれをごんぱろうというめあてを立てた人が多いと思います。まだめあてを立てていない人も、新しい年を迎えたこの時期は、めあてを立てるのに最も適した時期の一つですから、ぜひ、何かめあてを立てるといいでしょう。

新しい年、新しい学期を迎え、新しいめあてを立ててこれから生活していくわけですが、それはまた、新しい自分をつくることでもあります。今までの自分を振り返って、よくできているところはさらに伸ばし、十分にできていなかったところは改善して、より良い自分、新しい自分をつくっていきましょう。

でも、それは簡単なことではありません。変わるというのは難しいことだからです。どうしても、人は今まで通りにやりたくってしまうものです。それは、その方がいろいろ考えたり失敗したりしなくてすむからです。今まで通りの方が楽だからです。みなさんが立派なめあてを立てても、それがなかなか実行できない理由はそこにあります。めあてを実行するということは今までとは違うやり方をするということだからです。

ということは、めあてを達成するためには、今まで通りにやりたいという気持ちを捨てて、新しい気持ちで挑戦するという心がけが大切だということになります。そういう気持ち、そういう決断、そういう行動ができるかどうかが鍵となります。

3学期は、1学期や2学期と比べると学校に来る日はずっと少なくなります。1月から3月までの3ヶ月といっても、休みの日を除くと、学校で友達と楽しく勉強したり、運動したり、遊んだりする日数は51日しかありません。卒業する6年生は44日しかありません。もちろん、今日が終わると、あと50日、6年生は43日と、1日ずつ減っていきます。ですから、ちょっと油断しているとあっという間に終わってしまいます。そうならないように計画的に過ごしていきましょう。

4月になれば自動的に上の学年に上がるつもりでいるのではなく、今の学年のうちに苦手なことや難しいことを少しでもできるようにしておきましょう。寒さに負けず、心も体もきたえ、一回りも二回りも大きくなって春を迎えてほしいと思います。その準備をするのが3学期です。頑張りましょう。(抜粋)